

タイ6期松生敏子（まついけとしこ）
国際交流基金“日本語パートナーズ”

第13回派遣報告 「日本語クラブ」

2018年12月

派遣校のサレタットパン校では、月曜の8時間目に、日本語クラブがあります。今回の日本文化紹介は、茶道です。お茶を点てていただきました。お菓子持ってきていいですよ、と言うと、一番人気はポッキーでした。

「抹茶は緑色です。抹茶はとても苦いです。しかし、おいしいです。」
タイの人たちは、抹茶味（甘くしたもの）が大好きです。

次回は年賀状です。6月にインターシップに来ていた大学3年生の卒業生が、今、日本のお茶の水大学に留学しています。年賀状の返事を、日本からもらえることになっているので、「一生懸命、書きます。」



昼休みに日本語の会話を楽しんでいます。日本語で話すとともに、同じ内容のタイ語の発音を直してもらっています。生徒への質問内容に、文化や日本との違いを入れて聞くようにしています。生徒と日本語、タイ語を教え合う、語学を学ぶ楽しさ、面白さを改めて感じました。

